

# 金沢美術工芸大学 令和6年度一般選抜 試験問題

日本画	<p><b>実技試験Ⅰ（着彩描写）</b> モチーフ「杉板」「石炭（2個）」「フライパン用アルミシート」「アイス（ガリガリ君）」「スプレー型洗剤（アタックZERO）」「ぶどう（レッドグローブ）」</p> <p><b>実技試験Ⅱ（着彩写生及び面接）</b> モチーフ「いちご苗（鉢を取り除いたもの）」</p>
油 画	<p><b>実技試験（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 石膏像パジャント胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用すること。</p> <p><b>作品提出（油彩又はアクリル）・面接</b> 自画像を描きなさい。</p>
彫 刻	<p><b>実技試験Ⅰ（木炭デッサン又は鉛筆デッサン）</b> 「石膏像 ヘルメス」をデッサンしなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（塑造及びスケッチ）</b> 「力」をテーマにスケッチと塑造作品を制作しなさい。モチーフとなる要素は自由に設定して構わない。</p>
芸術学	<p><b>実技試験</b> モチーフ「パネル、パネルスタンド、ガラ袋」 与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙にデッサンしなさい。 そのほか、モチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を簡単な図を用いて、モチーフのデッサンと共に解答用紙に構成しなさい。 尚、モチーフから想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想で実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。</p> <p><b>小論文</b> 実技試験問題にある「与えられたモチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」について、解答用紙に1000字程度で解説しなさい。</p>
ホリスティック クデザイン	<p><b>実技試験（デッサン）</b> 三面図から立体を想定（質感は配布された木のブロックとする）し、自身の手と構成し描写しなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩構成）</b> 与えられたキーワード「音」からイメージを広げ、「愛おしさ」を感じる色彩構成をしなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を200文字以内で記入しなさい。</p> <p><b>実技試験（立体構成）</b> テーマ:「モチーフを支える美しいかたち」 与えられた材料「ケント紙」を用いて「モチーフ」を支える立体物を作り、それらで空間を構成しなさい。 どのような空間を意図したかを説明用紙に100文字以内で記入しなさい。</p>
インダストリアル デザイン	<p><b>実技試験（鉛筆デッサン）</b> 「カセットコンロ」「たこ焼きプレート」「水の入ったボトル」「おたま」「ふきん」を描きなさい。</p> <p><b>実技試験（色彩表現）</b> モチーフの形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。</p> <p><b>実技試験（立体表現）</b> 与えられた粘土の全てを使い直径10cmの円柱を制作した上で、1/3程度の粘土を削り取り、美しい曲面で「風」を表現しなさい。</p>
工 芸	<p><b>実技試験Ⅰ（鉛筆デッサン）</b> 「さつまいも」「オイルポット」「しゅろ縄」「タオル」「ハンガー」「レモンティー紙パック」をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（立体表現）</b> 与えられた水粘土を用いて、下記をテーマに立体表現しなさい。テーマ「音」。</p> <p><b>実技試験Ⅱ（色彩表現）</b> 与えられたモチーフ「プラスチックカップ」「赤青鉛筆」「和紋様」「水」を条件に従って構成し、色彩表現しなさい。</p>

令和6年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
美術科 油画専攻 一般選抜入学試験

実技試験

(木炭デッサン又は鉛筆デッサン)

問題

石膏像パジャント胸像をデッサンしなさい。背景の有無は自由とするが、試験用紙は縦位置で使用する事。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和6年度 一般選抜

実技試験I 木炭・鉛筆デッサン（令和6年3月11日実施）

試験問題

「石膏像 ヘルメス」をデッサンしなさい。

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 彫刻専攻

令和6年度 一般選抜 実技試験Ⅱ スケッチ・塑造（令和6年3月12日実施）

[試験問題]

「力」をテーマにスケッチと塑造作品を制作しなさい。  
モチーフとなる要素は自由に設定して構わない。

[課題1]

与えられた画用紙に塑造を前提とし、テーマから触発されたイメージや検討された構想を鉛筆で表現しなさい。また、選択したモチーフを明らかにして制作意図を簡潔に記しなさい。（8:30~12:00）配点・200点

[課題2]

試験問題にしたがって、立体作品を制作しなさい。

（10:30~16:45 その内休憩 12:00~12:45）配点・500点

\* 作品を制作する過程で、スケッチに描いたイメージや構想が変わっても構わない。

\* 試験開始後10時30分まではスケッチを描くこと、10時30分以降は塑造、スケッチどちらの制作をしても構わない。ただし[課題1]の画用紙と問題（制作意図作文）用紙は12:00に回収するので注意して下さい。その際、問題用紙をスケッチ用カルトンのクリップに挟んで下さい。

令和 6 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

実技試験問題

与えられたモチーフをよく観察し、モチーフの部分または全体を解答用紙にデッサンしなさい。

そのほか、モチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど、それらのプランの概要を簡単な図を用いて、モチーフのデッサンと共に解答用紙に構成しなさい。

尚、モチーフから想像した作品、展示(展覧会)、プロジェクトなどは、自由な発想で実現不可能なものも可能で、アイデアスケッチ、ラフデッサンでもよい。

令和 6 年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部 美術科 芸術学専攻

一般選抜入学試験

小論文試験問題

実技試験問題にある「与えられたモチーフから想像した自身の作品、展示(展覧会)、プロジェクトなど」について、解答用紙に 1000 字程度で解説しなさい。

令和 6年 3月 6日

令和6年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 デッサン

【 問題 】

三面図から立体を想定(質感は配布された木のブロックとする)し、自身の手と構成し描写しなさい。

【 条件 】

- ・ 描写するモチーフは1つです。  
画面上で勝手にモチーフを増やしてはいけません。
- ・ 画用紙の縦横は自由とします。
- ・ 画用紙の裏面中央に矢印(↑)を記入しなさい。矢印方向が「上」になります。
- ・ 与えられたA4用紙は下書き用です。

【 注意事項 】

- ・ 使用できるものは、デッサン用具のみです(デッサンスケール、はかり棒、定規、フィキサーチーフ、電動消しゴムはデッサン用具と認めません)。
- ・ 周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業をおこなってください。
- ・ 試験に関する質問は一切認めません。
- ・ 問題用紙、用紙は試験終了後、全て回収します。

以上

令和 6年 3月 6日

令和6年度

受験番号

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 色彩構成

### 【 問題 】

与えられたキーワード「音」からイメージを広げ、「愛おしさ」を感じる色彩構成をなさい。また、説明用紙にタイトルと制作意図を200文字以内で記入しなさい。

### 【 条件 】

- ・ ボード全面に着彩しなさい。
- ・ ボードの縦横は自由とします。
- ・ ボードの裏面中央に矢印(↑)を記入しなさい。矢印方向が「上」になります。
- ・ 与えられたA4用紙は下書き用です。

### 【 注意事項 】

- ・ からすぐち、マスキングテープの使用は認めません。
- ・ 色見本帳の使用は認めません。
- ・ 周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業をおこなってください。
- ・ 試験に関する質問は一切認めません。
- ・ 問題用紙、説明用紙、下書用紙は試験終了後、全て回収します。

以上

令和 6年 3月 7日

受験番号

令和6年度

金沢美術工芸大学

デザイン科・ホリスティックデザイン専攻

実技試験 立体構成

【 問題 】

テーマ:「モチーフを支える美しいかたち」

与えられた材料「ケント紙」を用いて「モチーフ」を支える立体物を作り、それらで空間を構成しなさい。どのような空間を意図したかを説明用紙に 100 文字以内で記入しなさい。

【 条件 】

- ・モチーフは A3 台紙に触れない状態で支持すること。
- ・モチーフの加工は不可。二つとも使用すること。
- ・モチーフは、立体物にテープや接着剤を用いて固定してはならない。
- ・空間のスケール感を表す人型(形状は問わない)をケント紙で作成し、A3台紙に接着しなさい。
- ・モチーフを含む立体物の大きさはA3台紙(段ボール)の幅・奥行き範囲とし、高さ30cmを超えないこと。
- ・与えられた A4 用紙は形の検討や考えをまとめる等に使用しなさい。

【 注意事項 】

- ・立体物は台紙に接着し、しっかり固定しなさい。
- ・カッター作業は専用台紙(□板紙)の上で行いなさい。
- ・作業は自席に座って行いなさい。
- ・周囲の受験生の迷惑とならないよう注意して作業しなさい。
- ・試験に関する質問は一切認めません。
- ・問題用紙、説明用紙、配布物は試験終了後、全て回収します。
- ・台紙に受験番号を貼り付けてください。

以上

受験番号	
------	--

令和6年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 鉛筆デッサン 問題用紙

問題：

「カセットコンロ」「たこ焼きプレート」「水の入ったボトル」  
「おたま」「ふきん」を描きなさい。

条件：

1. 全てのモチーフを画面に収めること。  
ただし、水の入ったボトルは手前側だけを描けば良い。
2. モチーフの下に敷いた白い板、机は描かないこと。
3. 用紙の縦横は自由とする。

注意：

1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
2. 問題用紙の空欄はメモに使用し、受験番号を記入し画用紙と一緒に提出してください。
3. 画用紙は受験番号枠側が裏面です。デッサンは表面に描いてください。

受験番号	
------	--

令和6年度  
金沢美術工芸大学 美術工芸学部  
デザイン科 インダストリアルデザイン専攻  
実技試験 色彩表現 問題用紙

問題：

モチーフの形の特徴を捉えて自由に構成し、美しく色彩表現しなさい。

- 条件：
1. 与えられたモチーフは自由に使って検討してよい。
  2. モチーフの実際の用途にとらわれず、自由に構成しなさい。
  3. モチーフの色・素材を自由に変えて描いてよい。
  4. モチーフはいくつ描いてもよい。
  5. モチーフの拡大縮小は自由に行ってよい。
  6. モチーフは画面からはみ出してもよい（トリミングしてよい）。
  7. ボードの裏面中央に作品の上方向を矢印（↑）で記載すること。
  8. 塗り残しをしないこと。白を塗ってもよい。
  9. 用紙の縦横は自由とする。
  10. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

- 配布物：
1. KMKケントボード A3 3mm 白 1枚
  2. 問題用紙
  3. 草案用紙2枚（足りない場合は裏面を使用してください）
  4. モチーフ（木製クリップ3個）
  5. 作品説明シート

- 注意：
1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
  2. マスキングテープの使用は認めません。
  3. 色見本帳の使用は認めません。
  4. ケントボードは番号枠側が裏面です。色彩表現は表面に描いてください。
  5. モチーフは持ち帰ってください。
  6. モチーフ以外の配布物は全て試験終了後に回収します。
  7. 廃水は、教室の流し台に捨ててください。

受験番号

令和6年度

金沢美術工芸大学 美術工芸学部

デザイン科 インダストリアルデザイン専攻

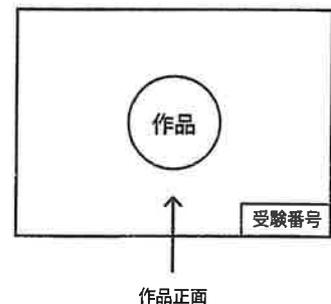
実技試験 立体表現 問題用紙

問題：

与えられた粘土の全てを使い直径10cmの円柱を制作した上で、  
1/3程度の粘土を削り取り、美しい曲面で「風」を表現しなさい。

- 条件：
1. 円柱のイメージを残すこと。
  2. 削り取った面を美しく整えること。
  3. 円柱は縦置きで、垂直に自立すること。
  4. 作品は粘土板（小）からはみ出さないこと。
  5. 作品は粘土板（小）に載せた状態で提出すること。
  6. 作品説明シートに作品の意図を140文字以内で記述すること。

- 配布物：
1. 粘土3kg
  2. 粘土板（大）
  3. 粘土板（小）
  4. 雑巾
  5. ヘラセット（金切鋸刃・切り弓・彫塑ペラ・平線かきペラ）
  6. 霧吹き
  7. ボウル（水入れ用）
  8. 問題用紙
  9. 草案用紙2枚（足りない場合は裏面を使用してください）
  10. 作品説明シート



提出時の作品の配置

- 注意：
1. 試験問題に関する質問は受け付けません。
  2. 配布物は全て試験終了後に回収します。
  3. 粘土板(小)に、受験番号が右手前になるように作品を配置して提出してください。

令和6年度 金沢美術工芸大学 工芸科

実技試験Ⅰ 「鉛筆デッサン」

問題

「さつまいも」「オイルポット」「しゅろ縄」

「タオル」「ハンガー」「レモンティー紙パック」

をモチーフとし、下記の条件に従いデッサンしなさい。

〈条件〉

- ・画面は縦位置、横位置自由とする。
- ・合板上にモチーフを自由に配置すること。
- ・モチーフの扱いは自由とする。ただし、モチーフをカットすることはできない。
- ・「レモンティー紙パック」は開けてはならない。

〈注意〉

- ・構図を考える時は、配布した草案用紙を使用し、持参した紙やスケッチブック等を使わない事。
- ・モチーフと問題用紙と草案用紙は試験終了時に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

〈配布物〉

- ・問題用紙 : 1枚
- ・モチーフ : 「さつまいも」1本、「オイルポット」1個、「しゅろ縄」1個、  
「タオル」1枚、「ハンガー」1個、「レモンティー紙パック」1個
- ・草案用紙 : 5枚
- ・合板 : 1枚

令和6年度 金沢美術工芸大学 工芸科

## 実技試験Ⅱ「立体表現」

### 問題

与えられた水粘土を用いて、下記をテーマに立体表現しなさい。

### テーマ 「音」

#### 条件

1. テーマとなる「音」は自由に想定し、タイトルを配布された用紙に記入すること。
2. 使用する粘土の量は与えられた範囲内で自由とする。
3. 解答作品は塑像版からはみ出さないこと。

#### 注意

1. 解答作品は試験終了後に採点場所に移動するため、作品が倒れるなど破損がないよう留意して制作すること。
2. 募集要項に指定されている持参用具と机上に準備されている用具以外は使用しないこと。
3. 配布されたヘラは加工しないこと。
4. 粘土の中に異物を入れないこと。
5. 用具、問題用紙、草案用紙など配布されたものを持ち帰らないこと。
6. 塑像板の受験番号札が右下になる側を正面として制作すること。

#### 配布物

水粘土、練り用粘土板(大)、塑像板(小)、塑像用具一式、霧吹き、雑巾2枚、水入れ、タイトル記入用紙、草案用紙5枚

令和6年度  
金沢美術工芸大学  
工芸科  
実技試験Ⅱ「色彩表現」

問題

与えられたモチーフを条件に従って構成し、色彩表現しなさい。

条件

- ・モチーフは「プラスチックカップ」、「赤青鉛筆」、「和紋様」、「水」とする。
- ・画面内でのモチーフの数、大きさ、表現方法は自由とする。
- ・「和紋様」は紋様資料内より選択すること。複数種類の選択も可とする。
- ・画面は縦位置・横位置自由とする。
- ・画面の表側、上部中央に天地を表す●印を鉛筆で記入すること。

注意

- ・紋様資料を直接画面に貼り付けないこと。
- ・草案用紙を配布するので、持参した紙やスケッチブック等は使わないこと。
- ・問題用紙、モチーフ、草案用紙は試験終了後に回収する。
- ・この問題に対する質問には応じない。

配布物

- ・問題用紙：1枚
- ・モチーフ：「プラスチックカップ」、「赤青鉛筆」、「紋様資料」、「水」
- ・B3 バロンケントボード：1枚
- ・草案用紙：5枚